

新どさんこ研究所、開所10周年を機に 道民意識データから10年の間の変化を読み解く 「新どさんコラム10 YEARS 10 CHANGES」の連載を開始 第1回テーマは「好きな季節のチェンジ」

株式会社北海道博報堂（本社：北海道札幌市中央区、代表取締役社長：左近成弘）の新どさんこ研究所は2026年に開所10周年を迎えました。設立以来、生活者を取り巻く環境の変化にともない、道民の意識や行動も変わっていくという仮説のもと、独自調査と分析を継続してきました。このたび、2016年から2025年までの道民意識データ10年分のアーカイブがそろったことを機に、蓄積された調査結果の一部を紹介する「新どさんコラム 10 YEARS 10 CHANGES」の連載を開始します。

本コラムでは、暮らし、価値観、情報行動、食、余暇、地域意識などの共通項目を比較し、道民が10年の間でどのように変化したのかを紹介します。数値の変化だけでなく、その背景にある生活者インサイトと、この先10年に起こり得る変化についても考察します。

「10 YEARS 10 CHANGES」について

10周年

新どさんこ研究所は2026年におかげさまで開所10周年。「一步先の道民＝新どさんこ」の姿を、生活者データの分析や未来予測から発信してきました。

10年分の アーカイブ

2016年から2025年まで、道民の暮らし、価値観、情報行動、食、余暇、地域意識などを継続調査。共通項目から変化を読み解きます。

10のチェンジ

象徴的な10テーマを選び、数値の変化、生活者インサイト、10年後の未来仮説を1テーマずつコラム形式で紹介します。

今後公開予定のテーマ ※変更の場合もあります。

「お小遣い」のチェンジ

「情報収集意識」の
チェンジ

「趣味・スポーツ」の
チェンジ

「食意識」のチェンジ

「メディア視聴態度」の
チェンジ

「観光意識」のチェンジ

「生活満足」のチェンジ

「幸福感」のチェンジ

「未来期待度」のチェンジ

第1回「好きな季節のチェンジ」の詳細は次のページへ

連載は新どさんこ研究所ウェブサイトで順次公開します。

<https://shindoken.com/>

新ど研 新どさんコラム #1

新どさんこ研究所

10 YEARS 10 CHANGES

10年分の調査アーカイブから10のチェンジを読み解く

CHANGES #1

「好きな季節」 のチェンジ

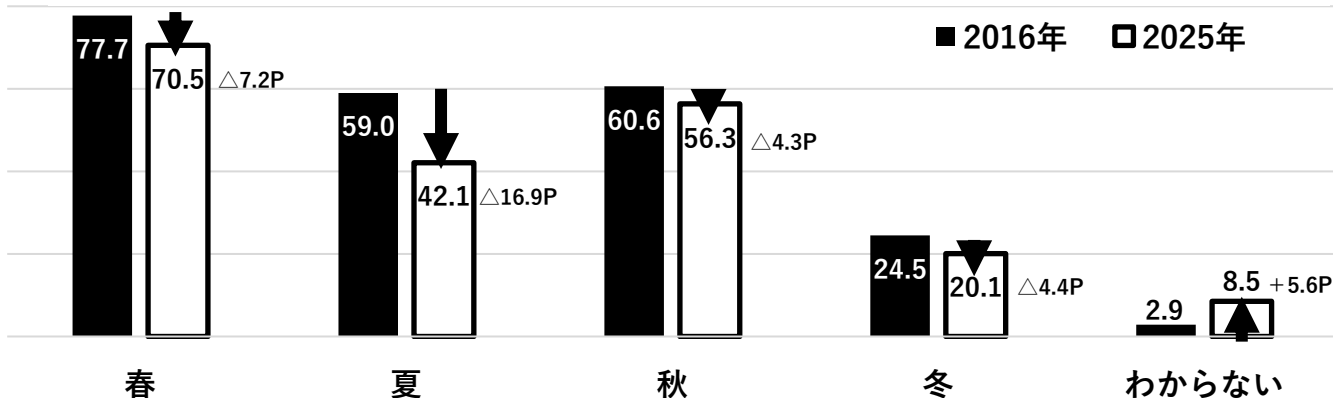
「シーズナリティ」から
「シーズンレス」へ

チェンジのポイント

- ① 夏が好きな道民は59.0%から42.1% (16.9p ↓)
- ② 春・秋・冬への好意も全般的に低下。
- ③ 「わからない」は2.9%から8.5%へ (5.6p ↑)
- ④ 季節の境目や過ごしやすさが曖昧に。
- ⑤ 10年後は「「シーズンレス」へ？

北海道民が好きな季節の変化

Q.あなたが1年の中で好きな季節をすべてお知らせください。(複数回答可) 単位：%



出典：北海道博報堂 新どさんこ研究所調査 2016年/2025年実施 インターネット調査 道内20～69才男女1,000サンプル

夏好きの道民が大幅減少？他の季節も軒並みダウン。10年後の未来では、好きな季節がわからなくなる？

この10年で大きく変化したもの、その1つが道民の季節への好意です。
夏が好き：59.0% → 42.1% (△16.9P)、春が好き：77.7% → 70.5% (△7.2P)、冬が好き：24.5% → 20.1% (△4.4P)と四季の魅力が全般的に低下しました。特に目立つのは、夏人気の大幅な低下。
北海道でも暑さへの負担感が強まり、「短い夏を楽しみに待つ」という従来の感覚が変わってきたのかもしれません。一方、「わからない」：2.9% → 8.5%と5.6ポイントも増えています。
これは、特定の季節が嫌われたというより、季節の境目や過ごしやすさが曖昧になり、道民の「季節推し」そのものが弱まっている可能性を示しています。
この先の10年で、好きな季節がわからず回答できないという道民が増えてしまう懸念もあります。
今後は季節らしさよりもシーズンを問わず好まれるモノやコトが増えるのではないのでしょうか？

Hakuhodo 新ど研

北海道博報堂

新どさんこ研究所

北海道博報堂「新どさんこ研究所」(新ど研)とは？

北海道民の今の姿をデータで明らかにしながら、「一歩先の北海道民＝新どさんこ」と定義して、その変化を予測・提言する(株)北海道博報堂が設立した研究組織。

お問い合わせ先

株式会社 北海道博報堂
新どさんこ研究所

☎011-251-0175 / ✉shindoken@hakuhodo.co.jp

公式 HP

<http://shindoken.com/>

過去のレポートはこちら！

